

令和7年度 神戸大学暁木会 東京支部総会

開催日：令和7年6月27日(金)

開催場所：神保町 喜山倶楽部 松の間（懇親会：飛鳥の間）

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 9階

一次 第一

(司会：大谷 達彦 新40)

【第一部：総会】 18:00 - 18:45

開会

1. 来賓紹介

神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 織田澤 利守 教授
暁木会会長 山下 剛 (新37)

2. 支部長挨拶

川野 康彦 暁木会東京支部長 (新39)

3. 議案審議

報告事項 【第一号議案】 会務報告
【第二号議案】 会計報告
【第三号議案】 会計監査報告

審議事項 【第四号議案】 役員選出
【第五号議案】 予算案

4. 本部来賓挨拶および本部助成金授与

山下 剛 暁木会会長(予定)

閉会

【第二部：講演会】 18:45 - 19:15

「まちの構造と健康寿命」

神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 織田澤 利守 教授

【第三部：懇親会】 19:15 - 中締め

1. 写真撮影

2. 乾杯

3. 大学近況報告

神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 織田澤 利守 教授

4. 本年度新入会員自己紹介

5. 中締め

以上

(参考) 暁木会東京支部会則<抜粋>

(目的)

- 第1条 本会は、「東京、神奈川、千葉、茨城、栃木、埼玉、群馬、山梨、新潟、福島、宮城、山形、秋田、岩手、青森、北海道」の地区に在職または在住する暁木会会員で構成し、民主的な団結により母校の発展に寄与し、併せて学術研鑽並びに会員相互の親睦を図ることを目的とする。

(中略)

(会議の種類)

- 第10条 本会の会議は次のとおりとする。
- (1) 総会
 - (2) 幹事会
 - (3) 執行部会

(総会の招集)

- 第11条 総会は通常および臨時の2種とし、本会運営の重要事項を審議する。
2. 通常総会は年1回を原則とし、臨時総会は支部長が必要と認めたときこれを招集する。
 3. 総会を招集するには、討議事項、日時、場所を示し、会員に通知しなければならない。

(総会での議決)

- 第12条 総会の議事は出席会員の過半数をもって決定し、可否同数の時は支部長がこれを決定する。
- なお、WEB等による電子会議、電子会議と対面会議の併用の場合は、電子会議の参加者も出席会員の数に含めるものとする。また、事前投票等を併用する場合は、同様に有効投票者数を出席会員の数に含めるものとする。

(以下、省略)

令和7年度暁木会東京支部総会議案

報告事項

【第一号議案】会務報告

1. 令和6年度暁木会東京支部総会

開催日：令和6年6月28日（金）18:00～20:30

会場：神保町 喜山倶楽部 飛鳥の間（+Zoom）

出席者：神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 大石哲教授

暁木会本部 黒澤正之会長（新36）

令和6年度暁木会東京支部総会は、27名（うち新入会員5名）の支部会員に参加していただき、盛会のうちに終えることができました。大石先生と黒澤会長に現地参加していただき、大石先生から大学の近況報告と「防災デジタルツイン自動作成による災害シミュレーション自動実行システムの構築」というテーマでご講演をいただきました。懇親会では、短い時間でしたが歓談し交流を深めることができました。

2. その他

（ア）令和6年度暁木会総会現地にて川野支部長出席、令和7年3月25日

（イ）令和5年度暁木会東京支部定例幹事会および執行部会

（幹事会）令和6年4月19日

（執行部会）令和6年5月21日（オンライン）令和7年2月4日

（ウ）令和6年度 K T C 東京支部（六甲クラブ）

（クラブ代表幹事会）令和6年9月9日、令和6年12月19日

（支部総会）令和6年10月15日

【第二号議案】会計報告（令和6年度）

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

収入の部			支出の部		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	494,034		総会関連費用	301,199	※5
本部助成金	400,000	※1	通信、事務費	1,093	
支部総会会費	92,000	※2	会議費	122,124	※6
会議費	32,000	※3、※4	旅費	39,080	※7
預金利息	267		慶弔費	2,695	※8
			会費	40,000	※9
			次年度繰越金	512,110	うち現金12,583円
合計	1,018,301		合計	1,018,301	

※1 本部助成金について、例年どおり 400,000 円の助成。

※2 6/28支部総会は参加者より下記の金額を徴収。

40才以上(16名)：5000円、40才未満(6名)：2000円、新入会員(5名)：無料

※3 4/19幹事会は参加者全員より下記の金額を徴収。

参加者(11名)：2000円/1名

※4 2/4執行部会は参加者全員より下記の金額を徴収。

参加者(5名)：2000円/1名

※5 支部総会、講演会における費用。（講演謝礼、Zoom 設備費含む）

※6 職域・クラス幹事参集の幹事会・執行部会を計3回開催（Zoom設備費含む）。KTC東京支部総会参加。

※7 本部総会（令和7年3月）出席旅費

※8 暁木会四国支部設立祝電

※9 東京六甲クラブ年会費。令和6年度分

【第三号議案】会計監査報告（令和6年度）

令和6年度の会計について、帳簿、証拠書類、預金通帳などを綿密に精査しました結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

2025 年 4 月 / 日

渡邊 武志



審議事項

【第四号議案】役員選出

役員選出（案）

	令和6年度	令和7年度
支部長	川野 康彦（新39）	大谷 達彦（新40）
副支部長	井上 貴文（新41）	山口 充（新42）
事務局長	大谷 達彦（新40）	井上 貴文（新41）

【第五号議案】予算案（令和7年度）

令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

収入の部			支出の部		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	512,110		総会関連費用	526,000	※3
本部助成金	400,000	※1	通信、事務費	4,000	
支部総会会費	225,000	※2	会議費	80,000	※4
			旅費	60,000	※5
			慶弔費	0	
			会費	40,000	※6
			次年度繰越金	427,110	
合計	1,137,110		合計	1,137,110	

※1 本部助成金については、例年どおり 400,000 円

※2 会員が参集した懇親会を実施。来賓や新入会員を除く人数を45人と想定（5,000円×45人）

※3 支部総会、講演会における支部負担費用。（講演謝礼含む）

※4 職域・クラス幹事が参集した幹事会および執行部会 4 回の開催を見込む。

※5 本部総会（令和8年3月）とKTC総会（令和7年5月）の出席旅費

※6 東京六甲クラブ年会費。令和7年度分。

令和7年度 神戸大学暁木会 東京支部総会 出席者

	氏名			
来賓	織田澤 利守	神戸大学工学研究科市民工学専攻 教授		
来賓	山下 剛	暁木会会長(大成建設) 1989年卒業		
	氏名	所属	卒業年	卒業回
1	中村 明彦	テムロ	1978	②⑥
2	蓮井 昭則	国土防災技術	1979	②⑦
3	福森 浩史	清水建設	1983	③⑩
4	佐藤 毅	アサノ大成基礎エンジニアリング	1984	③⑫
5	米田 修	間瀬コンサルタント	1985	③⑬
6	荒井 幸夫	大日本ダイヤ	1985	③⑬
7	吉岡 泰邦	JFEシビル(株)	1987	③⑮
8	前田 敏也	清水建設	1988	③⑯
9	南方 文明	フジタ	1988	③⑯
10	西尾 成夫	大成建設	1988	③⑯
11	川崎 哲人	竹中土木	1988	③⑯
12	上馬場 靖	前田建設工業	1988	③⑯
13	長尾 達児	鉄建建設	1989	③⑰
14	田中 俊行	日特建設	1989	③⑰
15	木村 ひとし	あおぞら銀行	1989	③⑰
16	杉浦 仁久	東洋建設	1990	③⑱
17	渡邊 武志	パシフィックコンサルタンツ	1990	③⑱
18	川野 康彦	ENEOS	1991	③⑲
19	大谷 達彦	西松建設	1992	④⑩
20	古谷 茂也	Van Oord	1992	④⑩
21	笹 真	鹿島建設	1992	④⑩
22	井上 貴文	東急建設	1993	④⑪
23	山口 充	鴻池組	1994	④⑫
24	井上 卓	前田建設	1996	96
25	高橋 俊之	復建調査設計	1998	98
26	村上 令一	東亜建設工業	2002	2
27	古賀 翔平	大林組	2006	6
28	門前 敏典	日建設計	2006	6
29	田中 麻穂	前田建設工業	2009	9
30	小島 洋人	清水建設	2009	9
31	池尻 大介	鴻池組	2011	11
32	澁谷 大樹	NIPPO	2011	11
33	定月 歩今(旧姓：山野)	清水建設	2012	12
34	田中 琢	鴻池組	2012	12
35	松本 修平	清水建設	2013	13
36	巽 敏彰	奥村組	2014	14
37	建口 沙彩	パシフィックコンサルタンツ	2015	15
38	伊藤 真司	鹿島建設	2016	16
39	前川 慎太郎	大成建設	2018	18
40	松下 晃生	パシフィックコンサルタンツ	2020	20
41	美濃部 大翔	前田建設工業	2020	20
42	孟 凡淞	前田建設工業	2020	20
43	中川 祐季	三井物産	2023	23
44	飯塚 敦	中央大学	—	—
45	溜 幸生	東電設計	1987	C院22
46	奥村 夏音	NTT都市開発	2023	C23M
47	下山田 誉大	東洋建設	2025	新会員
48	小林 悠	鹿島建設	2025	新会員
49	丸井 寿都	大林組	2025	新会員